

早期発見・早期治療がカギ 「口腔がん検診」実施

「口腔がん」は喫煙や飲酒習慣でその発症リスクが高まり、高齢化に伴い年々増加しています。下妻市歯科医師会が主催する「口腔がん検診」が2月26日、市保健センターで実施され、受診対象となった40歳以上の市民71人が受診しました。

検診に先立ち、口腔がんを知るための講演会では、筑波大学附属病院 水戸地域医療教育センター 歯科口腔外科の鬼澤浩司郎教授が講師となり、口腔がんの特徴や症状を写真などで分かりやすく解説しました。鬼澤教授は「口の中は鏡があれば自己検診が可能。口の中の症状が2週間以上続いたら我慢せず歯科医院などの医療機関を受診してほしい」と呼び掛けました。

口内炎が気になって参加したという上田竹子さんは「今回受診して安心できた。また2年後も受診したい」と安堵の表情でした。



丁寧に受信者を診察する歯科医師

下妻市女性団体連絡会と市長との タウンミーティングを開催

「女性の目線でのまちづくり～人がいきいきかがやぐまち・下妻～」をテーマに、下妻市女性団体連絡会の会員26人が2月25日、ピアスパークしもつまの会議室で、市長とのタウンミーティング(対話集会)を行いました。

同ミーティングは、市に求める課題や改善点、これからのまちづくりについて、参加者と稲葉市長が直接対話するフリートーク形式で進められました。少子高齢化社会を迎えた現状を踏まえ、高齢者が活動できる場の必要性や実証運行が始まったコミュニティーバスに関する意見、市の活性化につながるこれからの事業、特産物を生かした魅力あるまちづくりのアイデアなど、建設的な意見交換が行われました。

参加者からは「市が取り組んでいる事業や将来に向けての考えを聞くことができ、ますます下妻市に住むことが楽しみになった」などと感想がありました。



稲葉市長とまちづくりの意見を交わす参加者

エコを楽しく学ぶ「しもつま環境カルタ大会」開催

「平成28年度しもつま環境カルタ大会」が2月19日、イオンモール下妻で開催されました。市民、事業者、行政が協働して温暖化対策を推進する市民団体「STOP!温暖化 エコネット しもつま」が主催。市内の幼・保育園など8園と小学校9校から60組120人の園児・児童が参加し、下妻市オリジナルの環境カルタで白熱した戦いを見せました。

6年生の部で優勝した坂入夢花さんと恩田波路流さんは「去年は一回戦で負けてしまったので、その悔いが晴らせてうれしい。『マイバック いつも持ってる 心がけ』の札が好き」と笑顔でした。

「しもつま環境カルタ」は、市ホームページからダウンロードして手軽に作成できます。カルタ遊びを通じて環境について考えてみましょう。



環境カルタで白熱の戦いを見せる子どもたち

平成28年度しもつま環境カルタ大会結果一覧 優勝チーム

部門	チーム名	学校名	選手名	
幼児の部	チーム☆やる気満々	ちよかわ幼稚園	倉田 侑奈	市川 萌奈
1年生の部	ダブルスターチーム	豊加美小学校	河田 真歩	面土座 アリスト
2年生の部	フラワーズ	大宝小学校	渡辺 結菜	飯塚 まゆ
3年生の部	かるた大好きチーム2	高道祖小学校	井上 桃寧	小島 和愛
4年生の部	ミルキィ4(フォー)	高道祖小学校	滝本 梨乃	端 伊央里
5年生の部	フラワーフェアリー強敵	下妻小学校	山中 奈々	野澤 里咲
6年生の部	花さそう	総上小学校	坂入 夢花	恩田 波路琉



下妻市ホームページ
しもつま環境カルタ作成

税の知識を深め、納税の義務を正しく理解 —小中高等学校で租税教室—

私たちの暮らしを支えている税の知識を深め、納税の義務を正しく理解してもらおうと、税務署、県税事務所、市町の税務担当や税理士会などで組織される下館税務署管内租税教育推進協議会では、管内の小中高等学校に講師を派遣して「租税教室」を開催しています。

本市では、市内の9小学校、3中学校、2高等学校で、税金の種類や使いみち、納税の意味を、クイズ形式や租税教育用ビデオの上映などを用いて、楽しく分かりやすい授業が行われました。

騰波ノ江小学校の6年生17人を対象に開催した1月25日の租税教室では、市収納課の職員が講師となり、税金の種類を学んだ後、「税金のない暮らしと、税金がある暮らし

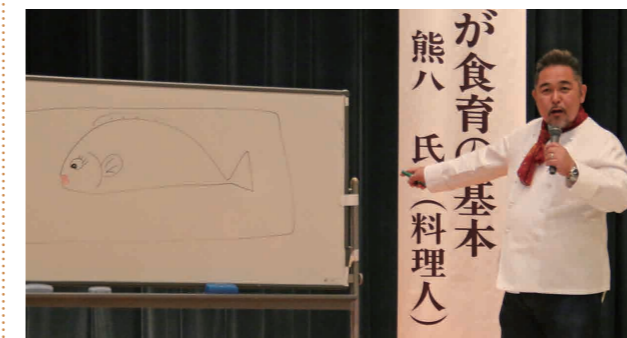
しがどう違うか」を比較したビデオを視聴し、公共施設と営利目的の施設の違いや税金の使われ方をみんなで確認しました。



税金の種類を考える児童たち(1月25日、騰波ノ江小学校で)

消費生活市民講座「もったいないが食育の基本」開催

市は2月26日、市民の消費生活の向上を目的に「消費生活市民講座」を千代川公民館で開催しました。「歌う料理人」として話題となり、テレビやラジオ、雑誌などで幅広く活躍する森野熊八さんを講師に招き、「もったいないが食育の基本」というテーマの講演会に市民など約60人が参加しました。



食事のマナーや楽しみ方からも食育を語る森野さん

森野さんは「食事制限を行い、そのために料理を残したり、我慢したりしないでほしい。カロリー計算は1週間から10日で食事のサイクルを考え、食事を楽しんでほしい」と訴え、「消費者が食べるということをしっかり考え、無駄を出さないように心掛けなければいけない」と強く語りました。

消費生活の啓発に携わる40代の女性からは「生産者の苦勞を考えて、『もったいない』という意識を持って生活することが大切だと感じた」と話が聞けました。

有料広告欄

有料広告欄